

仏教とお寺をやさしく解説

# さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2019年9月  
第38号  
(年4回発行)

秋の  
お彼岸号

発行部数3千部



仏教と雅楽（二）〜雅楽の楽器〜

シリーズ浄土宗／「法然上人のあゆみ」

実践教室／弔辞の言葉・弔電のつくり方

お月見コンサートのご案内

彼岸会／合同彼岸会法要のご案内

## 仏教と雅楽(二)

雅楽は、わが国でもっとも古い伝統をもつ音楽で、  
 仏教とも縁が深く古来より法要などでも演奏されてき  
 きました。

昨年、西願寺で開かれたお月見チャリティーコンサ  
 ートでは、雅楽師の東儀秀樹さんの演奏による笙や箏  
 楽の美しい音色が本堂に響きました。

さんが36号(春彼岸号)に引き続き、仏教と雅楽(二)  
 となる今回は、雅楽で使用される楽器についてご紹介  
 します。



西願寺お月見チャリティーコンサートにて箏楽の演奏をする東儀秀樹氏



箏楽



琵琶



太鼓



三ノ鼓

平安期に、唐、三韓が渡来したころ、雅楽の楽器は今使  
 用されているものよりも数が多くありましたが、現在、管  
 絃の合奏の中心となる楽器は、一般的に三管、三鼓、両絃  
 の8種類と言われています。

管楽器では、笙(鳳笙)、箏、龍笛(横笛)、または高  
 麗笛、または神楽笛。弦楽器では、琵琶、楽箏、または和  
 琴。打楽器では、鞆鼓、楽太鼓または大太鼓、鉦鼓、三ノ  
 鼓が使用されています。

「天から差し込む光」

「地上にこだまする人々の声」

「天と地の間を縦横無尽に駆け巡る龍」

この三つの音を表すのが主旋律を担う笙、龍笛、箏の三つの管楽器でこれを合わせて「三管」と呼ばれています。

「天から差し込む光」を表す笙は鳳笙とも呼ばれ、その姿は鳳凰が羽を休めた形といわれています。

原産地は中国で、五千年ほどの歴史を持っており現在、わが国で使用されている笙は、唐時代に輸入され、その後、日本人によって多少改良され今日に至っている。息を吸っても、息を入れても同じ音が出て、通常は六つの音を出す、単音で音を出すことも可能で、雅楽の中では独特の神々しい音色で楽曲を引き締める役割を持ち日本の音楽の中ではめずらしく和声（ハーモニー）を醸成する楽器です。

「地上にこだまする人々の声」を表すといわれる箏も、中国から渡来し

た竹製の楽器で、直径が2cm弱、長さが18cmほどの縦笛です。また、指孔が表に七、裏に二つありますが、裏の一つは、「亡国の音」といって古くから使用されていません。

人の声を模して作られたといわれる箏は小さな楽器には似合わないほど大きな音がでて塩梅（えんばい）という奏法が特製で音の移り変わりがとてもなめらかに行え、雅楽の中では、その力強い音で主旋律を受け持ちます。

龍笛は、「天と地の間を縦横無尽に駆け巡る龍」を表します。

雅楽では、龍笛の他、高麗笛、神楽笛などの笛も用いられ、龍笛は中国から渡来した楽器で龍の声を模したものといわれます。

雅楽では、「笙」「箏」「龍笛」を合奏することが基本の表現で、天を表す・笙、大地の音・箏、その二つ



龍笛

を龍（龍笛）が結ぶことで音楽表現により宇宙を作り出すと言われています。



笙

### 雅楽にまつわる言葉

打ち合わせ 管楽器同士で練習をした後、打楽器を交えて、最終的なりハ―サルをしたことから。

呂律ろりつ 古くは「りょうりつ」とも読んだ。呂と律は雅楽における曲調の大部分であり、呂律は広い意味での曲の調子を意味します。

呂と律の音の調子が合わないことを「呂律が回らない」と言っていたことが一般にも広まり「言葉がはつきりしないこと」を意味するようになりました。

呂旋法を前提に作られた曲を律旋法でうたおうとすると調子がおかしくなることから、音の調子が合わない（転じて詠唱や講演でうまく言葉が続いて発音できない）ことを「呂律が回らない」と表現するようになりました。

# — 法然上人のあゆみ —

**1133年（長承2）**

美作国久米南条稻岡（岡山・久米南町）に生まれる

**1141年（永治元）9歳**

父の死去を機に、菩提寺（岡山・奈義町）の観覚の弟子になる

**1145年（久安元）13歳**

比叡山（滋賀・大津市）に登る

**1150年（久安6）18歳**

西塔黒谷の観空に師事し、法然房源空の名を授かる  
保元の乱がおこる

**1159年（平治元）27歳**

平治の乱がおこる

**1175年（承安5）43歳**

浄土宗を開宗。東山吉水（京都・東山区）などに  
庵を結ぶ

**1189年（文治5）57歳**

摂政九条兼実に授戒する

**1190年（建久元）58歳**

東大寺で「浄土三部経」を講ずる

**1192年（建久3）**

源頼朝が征夷大將軍となる

**1198年（建久9）66歳**

『選択本願念仏集』を撰述する

**1201年（建仁元）69歳**

親鸞が法然に入門

**1207年（建永2）75歳**

専修念仏停止の院宣により、四国に流罪となる（建永の法難）

**1211年（建暦元）79歳**

赦免され、東山大谷の禅房に入る

**1212年（建暦2）80歳**

源智に「一枚起請文」を受け、京都吉水で入寂



法然上人

## 弔辞の言葉

弔辞は、遺族から故人と親しかった方に依頼され、葬儀・告別式などで読まれる故人への哀悼の意と遺族へのお悔やみの気持ちを伝える手紙です。



### 弔辞を依頼されたら？

弔辞を頼まれた場合は、よほどの事情がない限り快く引き受けるのがマナーとされています。故人の私的な一面や人柄が偲ばれる話をするとういでしょう。

### 弔辞の表現

「どうぞ安らかにお眠りください」「ご冥福をお祈りします」「天国に召された」：など、聞いたことがある、あるいは使ったことのある言葉かもしれませんが。ほとんど決まり文句になっているものもあるのではないのでしょうか。

さまざまある弔辞の言葉ですが、中には仏教での葬儀にふさわしくない言葉もあります。

例えば、天国に…という表現はキリスト教で使われ、仏教で用いることがありません。

### 心に響く弔電

親しい人が亡くなったときは、通夜や葬儀に参列したいものです。しかし、どうしても参列できないとき、心のもった弔電は遺族の心を慰めるメッセージとなります。

近年、弔電の受付は、電話だけでなくウェブからも注文することができ手軽に送れるようになりました。豊富にある定型文も便利ですが、故人への想いを伝えたい場合は、オリジナルの文章を加えることもできます。

弔電作成では、故人に語りかける弔辞とは違い、ご遺族に宛てた文章なので悲しみの中にある遺族を思いやる気持ちで作成するといいでしょ。



## 暮らしの中の 仏教語

### 「差別」【差別】

私たちが日常に使われる言葉には仏教語があふれています。「差別」もその一つ。皆さんは、「差別」という言葉にどのような意味を頭に思い浮かべますか？ 辞書などによると、「ある基準に基づいて、差をつけて区別すること。扱いに違いをつけること。」や「偏見や先入観などをもとに、特定の人々に対して不利益・不平等な扱いをすること。」などと書かれています。私たちが生活の中で聞く「差別」の言葉にはあまりいい意味では聞こえてきません。しかし、仏教では「しゃべつ」と読み、平等に対してそれぞれの物が異なる独自の姿で存在するということを表しているのだからか。



## ■第十回 十三夜お月見コンサートのご案内■

西願寺お月見コンサートは初開催から今年で十年を迎えます。東日本大震災をきっかけに二回目以降はチャリティーコンサートとして、毎年、様々な趣向で西願寺本堂にて開催されてきました。今回は、姉妹で数々の賞を受賞している、津軽三味線演奏家の北村姉妹による民謡にオリジナルのアレンジを加えた曲など息の合った演奏をお楽しみください。



日時／

令和元年10月11日(金)

18時受付

場所／西願寺本堂

参加費／1,000円

皆さまお誘い合わせの上お気軽にご参加ください。

◆北村姉妹 (姉・まおさん、妹・みりさん)

幼少より父、北村正貴氏の元、数々の津軽三味線の大会にて優秀な成績をおさめ、正統津軽三味線の研鑽を積む傍ら、古くから伝わる民謡にアレンジを加え、息のあった三味線を奏する唯一無二の姉妹ユニット。最近では、和洋楽器の融合したバンドの活動や、海外からの演奏依頼、任天堂webCMの主演に起用されるなど幅広く活躍中。

## 西願寺別時念佛会のご案内

日時／毎月25日 18時より

場所／西願寺本堂

■参加申込について

事前にご連絡をお願い致します。

当日でも大丈夫です。

お気軽にご参加ください。

※当日灯明料をご奉納願います。



お月見コンサート・別時念佛会のお申込・お問合せ

西願寺

TEL. 048-925-1723

FAX. 048-925-1789

## ■本堂前にある水鉢はなぜ？■

西願寺や他の寺社など、本堂前に大きな水鉢が備えられているところがあります。天水鉢や天水桶などと呼ばれ、雨水を蓄えて置くものです。

その昔、江戸には火事が多く明暦3年、明和9年、文化3年に起こった江戸3大火を含め80を超える大火があったと言われていました。その対策の一つとして江戸幕府が、江戸の町中の各戸の軒先に天水桶を設置するようにお触れが出され、その後、寺社の天水鉢は、江戸時代中期以降、江戸周辺の寺社への主要な奉納・奉獻物となったそうです。



西願寺天水鉢(桶)

# 掲 示 板

## ●秋彼岸会

9月20日(金)～9月26日(木)

## ●葬祭フェア開催

9月21日(土)22日(日)

場所…彩の都 あすま会館

当日は、会場で祭壇等の展示をし葬儀についてのご相談やご質問をお受けいたします。お気軽にお越しください。



葬祭フェアについての  
お問合せ(彩の都 あすま会館)  
**TEL. 048-921-4194**

彩の都メモリアルパーク

## 秋の合同彼岸会法要

日時 9月23日(月)

場所 彩の都 あすま会館 2階

時間 10時～

彩の都メモリアルパークでは、上記日程で秋の彼岸会合同法要をお勤めします。是非、ご参列くださいますようお願い申し上げます。



彩の都メモリアルパーク

## 永代供養墓「華苑」 永代供養塔「光明苑」のご案内

彩の都メモリアルパークでは永代供養墓「華苑」、永代供養塔「光明苑」をご案内しております。お墓の後継ぎのいない方や、これからのご自身のお墓に不安を抱えていらっしゃる方など。さまざまな方にご好評頂いております。

詳しくは、彩の都メモリアルパーク管理事務所までお気軽にお問合せください。

(TEL.048-921-4194)



永代供養墓「華苑」

永代供養塔「光明苑」

### ■お便り募集■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、ぜひお気軽にお寄せください。

### ◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんが」編集部  
東京都千代田区飯田橋四・七・十一カクタス飯田橋ビル7F  
FAX 03(32205)1602 Mail: info@ioco.net

### ■次号予告

次号は令和元年十二月発行予定の「新年号」です。



#### ◆編集後記◆

今号では、法然上人のあゆみとして年表を掲載していますが、それを見てつくづく思うのが、法然上人は、戦乱の中に生きた人物だったのだということです。動乱、混乱の世の中に傷ついた人々を救済するために法然上人が確立した専修念仏の教えが広まっていく理由もうなずけます。

さて、今回の「さんが」は秋のお彼岸号。秋と言えば中秋の名月と呼ばれるように月の美しい季節ですね。十五夜について美しい月とされるのが十三夜で旧暦の9月13日の夜のことをいいます。「後の月」「栗名月」などとも呼ばれ、宮中では古くから宴を催すなど月を鑑賞する風習があったそうです。今年の十三夜は10月11日。そうです！西願寺の十三夜お月見コンサートの日です。西願寺でのコンサートを楽しんだ帰り道に秋の夜空を見上げてみるのもよいかもかもしれません。

#### 発行者

遊馬山一行院 西願寺

〒三四〇〇〇〇三二 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三四〇〇〇〇三二 埼玉県草加市遊馬町二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺

「さんが」編集部

彩の都メモリアルパーク通信